

桑原征平さん講演会



12月2日、大阪ステンレス流通協会では特殊鋼倶楽部、全日本特殊鋼流通協会両支部との共催で講演会を実施しました。

講師としてお招きしたのは元関西テレビアナウンサーの桑原征平さん。

講演会のタイトルは「桑原征平の体当たり人生～必ずチャンスはやってくる～」。

“命知らずのアナウンサー”の異名通りこれまで命懸けの体当たりでチャンスをつかんできた桑原さんの話は聞いてビックリ思わず笑わずにいられないエピソード満載でした。聞いて皆さん、元気が出たであろう話のほんの一部を紹介しましょう。



▼ホンダが特注で作ったフォーミュラーカーで鈴木サーキットに挑戦するも、コースアウトしてクッション壁に激突。4点シートベルトをしていても額を18針縫うケガ。



次回もご参加お待ちしております

▼50年の広島カープ、セ・リーグ初優勝のときには「くたばれ！広島カープ」のプラカードを下げて広島に殴り込み。ファンのおじさんに殴られて鼻血下バーツ。キャバレーでは全裸にされた。

▼ほかに日本人として初めて木下大サーカスで目隠し、命綱なしで、高さ18尺の空中ブランコで飛び移ったり、アカプルコの断崖絶壁からのダイビングも日本人初など、エピソードは枚挙にいとまがなかった。

▼馬に乗ったことがないのに、米国アリゾナ州のロデオ大会に出場。馬にまたがったときに馬が暴れ、鉄パイプと馬の背骨にはさまれた中指が8センチぎれ、落馬後は馬に蹴られて耳から出血。10センチズレて顔を蹴られていたら即死だった。

▼大分アメリカンサファリでライオン30頭放し飼いのところに、トラのぬいぐるみを着て侵入。このときはしっぽを噛まれただけで済んだが、アメリカではライオンに腰をガブリと噛まれ、今でも腰は骨と皮だけ。